

れい わ がんねん  
令和元年

みんなでしらべた

かわ なか い  
川の中の生きもの

ちょう さ けっ か  
調査結果

てんりゅうがわじょうりゅう  
天竜川上流  
すいせいせいぶつ による すいしつちょうさ  
水生生物による水質調査



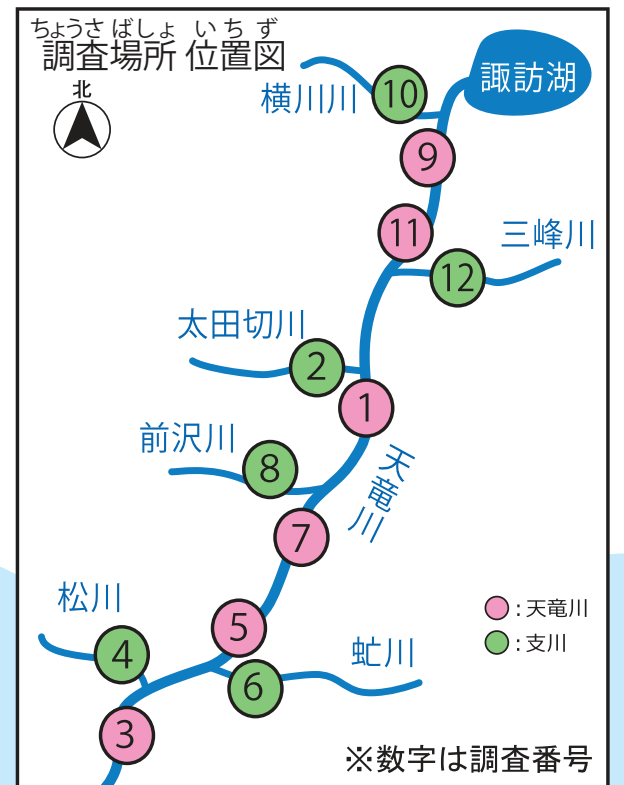
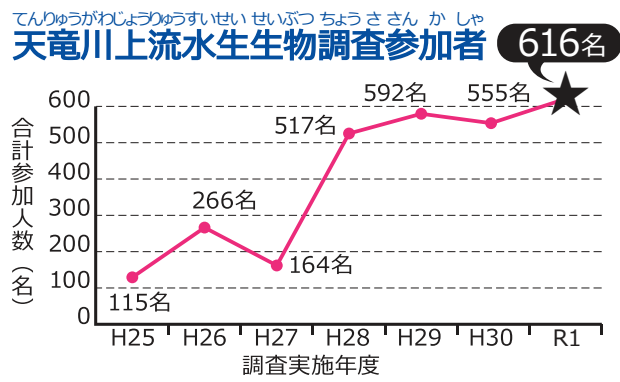
国土交通省 | 天竜川上流河川事務所





# 水生生物調査に参加してくれた皆さん

今年も天竜川及び支川の12地点で調査をしました。  
 猛暑の中ではありますが、参加人数は過去最大で、616名の方にご参加いただきました。



- 1 天竜大橋 (天竜川)** 駒ヶ根市下平

7月30日(火) AM 参加人数 75名 (大人34名, 小人41名)
- 2 大田原橋 (太田切川)** 駒ヶ根市下平

7月30日(火) PM 参加人数 51名 (大人23名, 小人28名)
- 3 天竜橋 (天竜川)** 飯田市龍江

7月31日(水) AM 参加人数 25名 (大人11名, 小人14名)
- 4 上溝橋 (松川)** 飯田市上郷別府

7月31日(水) PM 参加人数 21名 (大人7名, 小人14名)
- 5 明神橋 (天竜川)** 高森町下市田

8月1日(木) AM 参加人数 22名 (大人9名, 小人13名)
- 6 新蛇川橋 (蛇川)** 豊丘村神稲

8月1日(木) PM 参加人数 39名 (大人4名, 小人35名)
- 7 天の中川橋 (天竜川)** 中川村片桐

8月6日(火) AM 参加人数 35名 (大人14名, 小人21名)
- 8 新前沢橋 (前沢川)** 中川村片桐

8月6日(火) PM 参加人数 34名 (大人15名, 小人19名)
- 9 伊那路橋 (天竜川)** 箕輪町中箕輪

8月7日(水) AM 参加人数 86名 (大人35名, 小人51名)
- 10 伊那富橋 (横川川)** 辰野町辰野

8月7日(水) PM 参加人数 74名 (大人31名, 小人43名)
- 11 平成大橋 (天竜川)** 伊那市下新田

8月8日(木) AM 参加人数 58名 (大人21名, 小人37名)
- 12 竜東橋 (三峰川)** 伊那市美篤青島

8月25日(日) PM 参加人数 96名 (大人42名, 小人54名)



# 今年も水生生物調査を実施!

## 調査について

### 調査で何がわかるの?

川の中で暮らす水生生物(水生昆虫や貝類など)は、水質(水のきれいさ)や流れの速さなど、わずかな環境の違いによってすむ種類や数が変わります。

そのため、生きものを調べることにより、その場所の水質を知ることができます。

このように、私たちに水のきれいさの程度を教えてくれる生きものを「指標生物」といいます。

### 水質判定できる生きもの(指標生物)の例

きれいな水



カワゲラ類

ややきれいな水



コオニヤンマ

きたない水



ミズカマキリ

とてもきたない水



サカマキガイ

### どうやって調査をするの?

調査では、水生生物をとり、「①生きものの種類」、「②生きものの数」を調べ、指標生物の数で4段階の水質階級(I:きれい・II:ややきれい・III:きたない・IV:とてもきたない)を判定します。

#### 調査の方法



1

川で生きものをとる



2

生きものをしわける



3

生きもの(カワゲラ類)の名前を調べる



4

指標生物の数で水質を判定

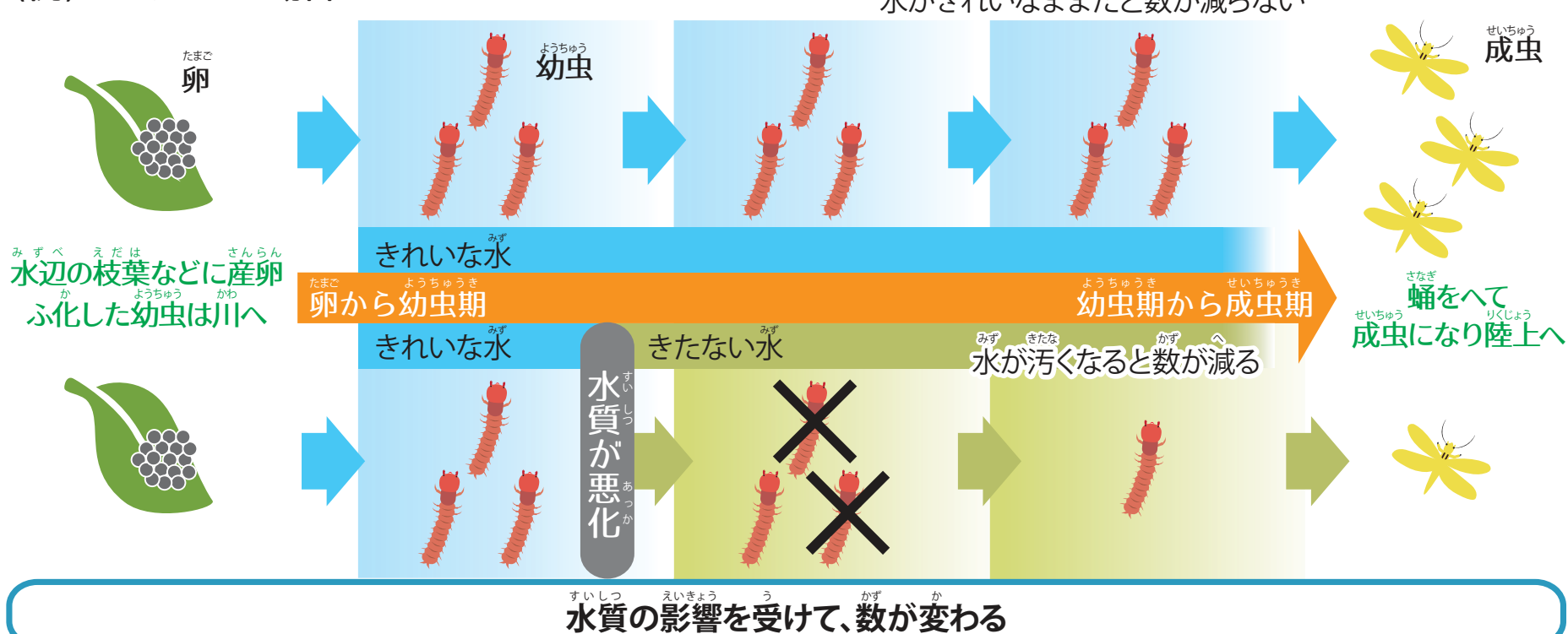
### どうして水生生物で水質を調べるの?

水生生物調査では、川の指標生物を調べて水質(水のきれいさ)を判定します。

水生生物は、ある程度の期間を水中で過ごすため、水質の影響を受けて種類や数が変わります。

そのため、数週間から数ヶ月の間の水質を知ることができます。

#### 〈例〉ヘビトンボの場合





# 調査結果は以下の通りです！

- 水質の判定方法**
- つかまえた生きものを表から選び数えます。② 数が多かった上位2種類を●に選び、ほかの種類は○にします。
  - 4つの階級の●と○の数を数えます。④ 各階級の合計より水質階級を判定します。※2つの水質階級が同じ数のときは、きれいな方の水質階級となります。

表 調査結果(支川)

		天竜川の支川																											
調査地点名(河川名)		大田原橋(太田切川)	上溝橋(松川)	新鯉川橋(鯉川)	新前沢橋(前沢川)	伊那富橋(横川)	竜東橋(三峰川)																						
年月日(時刻)		R1. 7. 30(14:00~16:30)	R1. 7. 31(14:00~16:30)	R1. 8. 1(14:00~16:30)	R1. 8. 6(14:00~16:30)	R1. 8. 7(14:00~16:30)	R1. 8. 25(14:00~16:00)																						
天気		晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ																						
水温(°C)		22.0°C	23.5°C	23.0°C	24.0°C	20.0°C	20.5°C																						
川幅(m)		10m	20m	6m	5m	20m	20m																						
生物を採取した場所		右岸	左岸	右岸・中央・左岸	右岸・中央・左岸	左岸	右岸・中央・左岸																						
生物採取場所の水深(cm)		30cm	50cm	30cm	30cm	40cm	30cm																						
流れの速さ		ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう																						
川底の状態		頭大の石	頭大の石・砂	頭大の石・砂	頭大の石	こぶし大の石	頭大の石																						
水のおいし・にごり・その他		においなし・にごりなし	においなし・にごりなし	においなし・にごりなし	においなし・にごりなし	においなし・にごりなし	においなし・にごりなし																						
魚、水草、鳥、その他の生物		カジカガエル(幼生)	アブラハヤ、カマツカ、カワムツ、スナヤツメ	アブラハヤ、オイカワ、アマゴ、シマドジョウ、カジカガエル(成体)	カジカ	アブラハヤ、シマドジョウ、ドジョウ	シマドジョウ、ドジョウ																						
水質		数字: 指標生物の数 ○: 見つかった指標生物 ●: 数が多かった2種類(最大3種類)																											
きれいな水	水質階級 I	1 カワゲラ類	1	○	6	●	6	●	3	○	19	●	5	○															
	2 ヒラタケゲロウ類	1	○	6	●	19	●	19	●	123	●	29	●																
	3 ナガレトビケラ類	1	○						2	○	3	○	2	○															
	4 ヤマトビケラ類									1	○																		
	5 アミカ類			1	○																								
	6 ヨコエビ類					1	○				1	○																	
	7 ヘビトンボ			3	○	2	○	21	●	1	○	11	○																
	8 ブユ類	78	●	5	●			1	○																				
	9 サワガニ			1	○	2	○	1	○	1	○	14	●																
	10 ナミウズムシ									2	○																		
ややきれいな水	水質階級 II	1 コガタシマトビケラ類																											
	2 ヒラタドムシ類																												
	3 ゲンジボタル																												
	4 コオニヤンマ			1	○	4	○	2	○	13	○	5	○																
	5 カワニナ類			2	○	7	●	7	○			1	○																
きたない水	水質階級 III	1 ミズカマキリ									1	○																	
	2 ミズムシ																												
	3 タニシ類																												
	4 シマイシビル	1	○																										
とてもきたない水	水質階級 IV	1 ユスリカ類			1	○																							
	2 チョウバエ類																												
	3 アメリカザリガニ																												
	4 エラミミズ																												
	5 サカマキガイ										1	○	1	○															
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV												
	1 ○印と●印の個数	3	0	1	0	5	2	0	1	4	2	0	0	6	2	0	0	8	1	1	1	5	2	0	1				
	2 ●印の個数	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0				
	3 合計(1欄+2欄)	4	0	1	0	7	2	0	1	5	3	0	0	8	2	0	0	10	1	1	1	7	2	0	1				
その地点の水質階級	水質階級 I (きれいな水)				水質階級 I (きれいな水)				水質階級 I (きれいな水)				水質階級 I (きれいな水)				水質階級 I (きれいな水)				水質階級 I (きれいな水)								
上記以外の生物	1	ヨシノマダラカゲロウ				ヌカエビ				ヒメトビイロカゲロウ				ヨシノマダラカゲロウ					モノアラガイ							キイロカワカゲロウ			
	2	フタマダマダラカゲロウ				ヒメトビイロカゲロウ				トビイロカゲロウ類				イマニシマダラカゲロウ					ツリミミズ類							クシゲマダラカゲロウ			
	3	フタバコカゲロウ				ヨシノマダラカゲロウ				ヨシノマダラカゲロウ				クシゲマダラカゲロウ					イシビル類							マダラカゲロウ類			
	4	シロハラコカゲロウ				フタバコカゲロウ				イマニシマダラカゲロウ				マダラカゲロウ類					ナガレシビル類							アカマダラカゲロウ			
	5	ヒメヒラタカゲロウ類				シロハラコカゲロウ				フタバコカゲロウ				アカマダラカゲロウ					ヌカエビ							エラフタマダラカゲロウ			
	6	オニヤンマ				ハグロトンボ				シロハラコカゲロウ				フタバコカゲロウ					キイロカワカゲロウ							ミジカオフタバコカゲロウ			
	7	コオイムシ類				カワトンボ類				シロハラコカゲロウ				シロハラコカゲロウ					フタスジモンカゲロウ							フタバコカゲロウ			
	8	ウルマーシマトビケラ				ミヤマサナエ				ヒメヒラタカゲロウ類				シロハラコカゲロウ					ヨシノマダラカゲロウ							フタモンコカゲロウ			
	9	ミヤマイトビケラ類				クロサナエ				ミルンヤンマ				ヒメヒラタカゲロウ類					クシゲマダラカゲロウ							トゲエラトビイロコカゲロウ			
	10	ガガンボ類				ダビドサナエ類				クロサナエ				ミルンヤンマ					マダラカゲロウ類							ウデマカリコカゲロウ			
	11	ユスリカ類(腹鰓なし)				コヤマトンボ				ダビドサナエ類				クロサナエ					フタモンコカゲロウ							コバネヒゲトガリコカゲロウ			
	12	ミズアブ類				アカネ類				オニヤンマ				ダビドサナエ類					シロハラコカゲロウ							チラカゲロウ			
	13	モンキマメゲンゴロウ				コオイムシ類				コヤマトンボ				オナガサナエ					フタオカゲロウ類							ミドリタニガワカゲロウ			
	14					ウルマーシマトビケラ				ウルマーシマトビケラ				オニヤンマ					チラカゲロウ							シロハラコカゲロウ			
	15					ヒゲナガカワトビケラ				シマトビケラ類				コヤマトンボ					ミドリタニガワカゲロウ							カワトンボ類			
	16					ニンギョウトビケラ				カクツツビケラ類				ウルマーシマトビケラ					ヒメヒラタカゲロウ類							ダビドサナエ類			
	17					モンキマメゲンゴロウ				マルバネトビケラ類				ヒゲナガカワトビケラ					カワトンボ類							ウルマーシマトビケラ			
	18									ユスリカ類(腹鰓なし)				ニンギョウトビケラ					ダビドサナエ類							シマトビケラ類			
	19									ハマダラナガレアブ				カクツツビケラ類					コヤマトンボ							ヒゲナガカワトビケラ			
	20									ナガレアブ類				ダイミョウガガンボ類					アメンボ							チャバネヒゲナガカワトビケラ			
	21													ユスリカ類(腹鰓なし)					ヒメアメンボ							ニンギョウトビケラ			
	22													アブ類					ナベフタムシ							カクツツビケラ類			
	23																		ウルマーシマトビケラ							センカイトビケラ類			
	24																		ヒゲナガカワトビケラ							ウスバガガンボ類			
	25																		ニンギョウトビケラ							ユスリカ類(腹鰓なし)			
	26																		カクツツビケラ類							ガムシ類			
	27																		ヒゲナガガガンボ類							ヒメドROMシ類			
	28																		ユスリカ類(腹鰓なし)										
	29																		アブ類										
	30																		マメゲンゴロウ										
	31																												
化学的酸素要求量 COD <sup>※</sup>		0				0				1				0				0				1							



# 調査結果！天竜川・支川の12地点の

みなさんが調査した結果、すべての地点で「きれいな水」という判定結果が得られました。

表 調査結果(天竜川)

		天竜川																											
調査地点名(河川名)		天竜大橋				天竜橋				明神橋				天の中川橋				伊那路橋				平成大橋							
年月日(時刻)		R1. 7. 30(9:30~12:00)				R1. 7. 31(9:30~12:00)				R1. 8. 1(9:30~12:00)				R1. 8. 6(9:30~12:00)				R1. 8. 7(9:30~12:00)				R1. 8. 8(9:30~12:00)							
天気		晴れ				晴れ				晴れ				晴れ				晴れ				晴れ							
水温(°C)		21.0°C				22.0°C				22.0°C				25.0°C				26.0°C				23.0°C							
川幅(m)		60m				40m				50m				50m				15m				30m							
生物を採取した場所		右岸				左岸				右岸				右岸				右岸				左岸							
生物採取場所の水深(cm)		25cm				20cm				25cm				20cm				20cm				30cm							
流れの速さ		はやい				はやい				ふつう				ふつう				ふつう				ふつう							
川底の状態		頭大の石				頭大の石				頭大の石				頭大の石				こぶし大の石				頭大の石							
水のおいしさに、にごり、その他		においなし・にごりなし				においなし・にごりあり				においあり・にごりあり				においなし・にごりなし				におい少しあり・にごりなし				においなし・にごりなし							
魚、水草、鳥、その他の生物		ウグイ、カワヨシノボリ、シマドジョウ、ドジョウ				カマツカ、コクチバス、スナヤツメ				—				オイカワ、シマドジョウ、スナヤツメ				ドジョウ、モツゴ、ツチガエル(成体)				オイカワ、ドジョウ							
水質	指標生物	数字:指標生物の数 ○:みつかった指標生物 ●:数が多かった2種類(最大3種類)																											
きれいな水	1 カワゲラ類	14	○					3	●									2	○					1	○				
	2 ヒラタカゲロウ類	22	●	28	●	5	●	77	●	105	●	142	●																
	3 ナガレトビケラ類	2	○	1	○	1	○	1	○	3	○	3	○																
	4 ヤマトビケラ類							1	○																				
	5 アミカ類																												
	6 ヨコエビ類																												
	7 ヘビトンボ	1	○			2	○	6	○	11	○	1	○																
	8 ブユ類			3	○			1	○																				
	9 サウガニ									1	○																		
	10 ナミウズムシ																												
ややきれいな水	1 コガタシマトビケラ類	5	○	23	●	2	○	3	○	42	●	27	●																
	2 ヒラタドロムシ類	123	●					11	●																				
	3 ゲンジボタル																												
	4 コオニヤンマ			1	○			1	○	7	○	2	○																
	5 カワニナ類																												
きたない水	1 ミズカマキリ													1	○														
	2 ミズムシ																												
	3 タニシ類																												
	4 シマイシビル			1	○																			2	○				
とてもきたない水	1 ユスリカ類							1	○																				
	2 チョウバエ類																												
	3 アメリカザリガニ																							5	○				
	4 エラミミズ																												
	5 サカマキガイ							3	●															1	○				
水質階級の判定	水質階級	I II III IV				I II III IV				I II III IV				I II III IV				I II III IV				I II III IV							
	1 ○印と●印の個数	4	2	0	0	3	2	1	0	4	2	0	2	5	2	0	0	5	3	1	0	4	3	1	2				
	2 ●印の個数	1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0				
3 合計(1欄+2欄)	5	3	0	0	4	3	1	0	6	2	0	3	6	3	0	0	6	4	1	0	5	4	1	2					
その地点の水質階級	水質階級I (きれいな水)				水質階級I (きれいな水)				水質階級I (きれいな水)				水質階級I (きれいな水)				水質階級I (きれいな水)				水質階級I (きれいな水)								
上記以外の生物	1	ミズミズ類				ヒメトビロカゲロウ				ミズミズ類				ナガレビル類				アメリカツノウズムシ				セスジビル							
	2	ツリミズ類				キイロカワカゲロウ				カワリヌマエビ類				ヒメトビロカゲロウ				ヌカエビ				カワリヌマエビ類							
	3	ナガレビル類				ヨシノマダラカゲロウ				ヒメトビロカゲロウ				キイロカワカゲロウ				ヒメトビロカゲロウ				ヌカエビ							
	4	フロリダマミズヨコエビ				クシゲマダラカゲロウ				キイロカワカゲロウ				ヨシノマダラカゲロウ				キイロカワカゲロウ				ヒメトビロカゲロウ							
	5	ヒメトビロカゲロウ				マダラカゲロウ類				ヨシノマダラカゲロウ				マダラカゲロウ類				クシゲマダラカゲロウ				キイロカワカゲロウ							
	6	キイロカワカゲロウ				アカマダラカゲロウ				クシゲマダラカゲロウ				アカマダラカゲロウ				マダラカゲロウ類				クシゲマダラカゲロウ							
	7	ヨシノマダラカゲロウ				ミジカオフタバコカゲロウ				マダラカゲロウ類				フタバコカゲロウ				アカマダラカゲロウ				マダラカゲロウ類							
	8	フタマタマダラカゲロウ				フタバコカゲロウ				アカマダラカゲロウ				フタモンコカゲロウ				ミジカオフタバコカゲロウ				アカマダラカゲロウ							
	9	マダラカゲロウ類				シロハラコカゲロウ				ヨシノコカゲロウ				シロハラコカゲロウ				フタバコカゲロウ				フタバコカゲロウ							
	10	アカマダラカゲロウ				Jコカゲロウ				サホコカゲロウ				Jコカゲロウ				フタモンコカゲロウ				Jコカゲロウ							
	11	フタバコカゲロウ				チラカゲロウ				フタモンコカゲロウ				トゲエラトビロコカゲロウ				シロハラコカゲロウ				チラカゲロウ							
	12	シロハラコカゲロウ				シロタニガワカゲロウ				シロハラコカゲロウ				ウデマギリコカゲロウ				Jコカゲロウ				ヒメヒラタカゲロウ類							
	13	Jコカゲロウ				タニガワカゲロウ類				Jコカゲロウ				チラカゲロウ				ウスイロフトヒゲコカゲロウ				アメンボ類							
	14	チラカゲロウ				ヒメヒラタカゲロウ類				ウデマギリコカゲロウ				シロタニガワカゲロウ				トゲエラトビロコカゲロウ				コオイムシ類							
	15	シロタニガワカゲロウ				ヤマサナエ				チラカゲロウ				ヒメヒラタカゲロウ類				ウデマギリコカゲロウ				タイコウチ							
	16	ハダロンボ				ウルマーシマトビケラ				シロタニガワカゲロウ				ダビドサナエ類				チラカゲロウ				ナベブタムシ							
	17	ダビドサナエ類				ミヤマイトビケラ類				ミヤマサナエ				オナガサナエ				シロタニガワカゲロウ				ウルマーシマトビケラ							
	18	オニヤンマ				ヒゲナガカワトビケラ				ウルマーシマトビケラ				コオイムシ				カワトンボ類				ヒゲナガカワトビケラ							
	19	コオイムシ				ヒゲナガガガンボ類				シマトビケラ類				ウルマーシマトビケラ				ダビドサナエ類				ユスリカ類(腹鰓なし)							
	20	ナベブタムシ				ガガンボ類				ヒゲナガカワトビケラ				シマトビケラ類				オナガサナエ				コオナガミズマシ							
	21	ウルマーシマトビケラ				ニセヒメガガンボ類				カクツツトビケラ類				ヒゲナガカワトビケラ				アオサナエ				ツヤナガアシドロムシ							
	22	ヒゲナガカワトビケラ				ユスリカ類(腹鰓なし)				ガガンボ類				ニンギョウトビケラ				アメンボ類											
	23	コエグリトビケラ類				ナガレアブ類				ユスリカ類(腹鰓なし)				ユスリカ類(腹鰓なし)				コオイムシ類											
	24	ニンギョウトビケラ								ガムシ類								タイコウチ											
	25	カクツツトビケラ類								ヒメドロムシ類								ナベブタムシ											
	26	キタガミトビケラ																ウルマーシマトビケラ											
	27	ヒゲナガガガンボ類																シマトビケラ類											
	28	ガガンボ類																ヒゲナガカワトビケラ											
	29	ユスリカ類(腹鰓なし)																ヒメトビケラ類											
	30	ゴマダラチビゲンゴロウ																クサツトビケラ類											
	31	ミズスマシ																ユスリカ類(腹鰓なし)											
化学的酸素要求量 COD**		0.5				1				2				1				1				2							

○:みつかった指標生物、●:多かった2種類の指標生物  
 ※CODについては、「天竜川の水をしらべてみよう」(天竜川上流河川事務所,2019)を参照。



## 今回の調査でたくさんみつかった水生生物

### カワゲラ類



尾は2本で胸の下面や腹の末端に房状のえらがあるものが多い。足のつめは2本。溪流の石の間や落ち葉が溜まっている場所にすんでいる。

### ヒゲナガカワトビケラ



体長は40mm前後。体は黒い褐色で頭部が細長い。石の間に網を張って、網にかかった小さな動植物のかげらや藻類などを餌にしている。

### ヘビトンボ



体長は60mm前後。大きな強いアゴをもち、腹に糸のような横にのびる長い突起があり、その付け根にえらがある。肉食性で他の水生昆虫などを餌にしている。

### ヒラタドロムシ類



体長は8mm前後。幼虫は丸く、平らなコンタクトレンズのような形をしている。石の表面の付着藻類を餌にしている。

## 希少な水生生物

### コオイムシ

—環境省レッドリスト：準絶滅危惧—



体長は17~20mm。メスはオスの背面に卵を産む。魚や貝を捕らえて針状の口から消化液を流し、汁にして飲む。

### スナヤツメ

—長野県レッドリスト：絶滅危惧II類—



成体の体長は120mm前後。湧き水を水源とする冷たい水を好む。幼体は目が見えず、昼間は砂の中に隠れている。

環境省レッドリスト：環境省レッドリスト2019(環境省,2019)、長野県レッドリスト：長野県版レッドリスト(動物編)2015(長野県,2015)

出典：川の生き物を調べよう—水生生物による水質判定—(国土交通省,2012)、原色 川虫図鑑(谷田一三郎,2000)

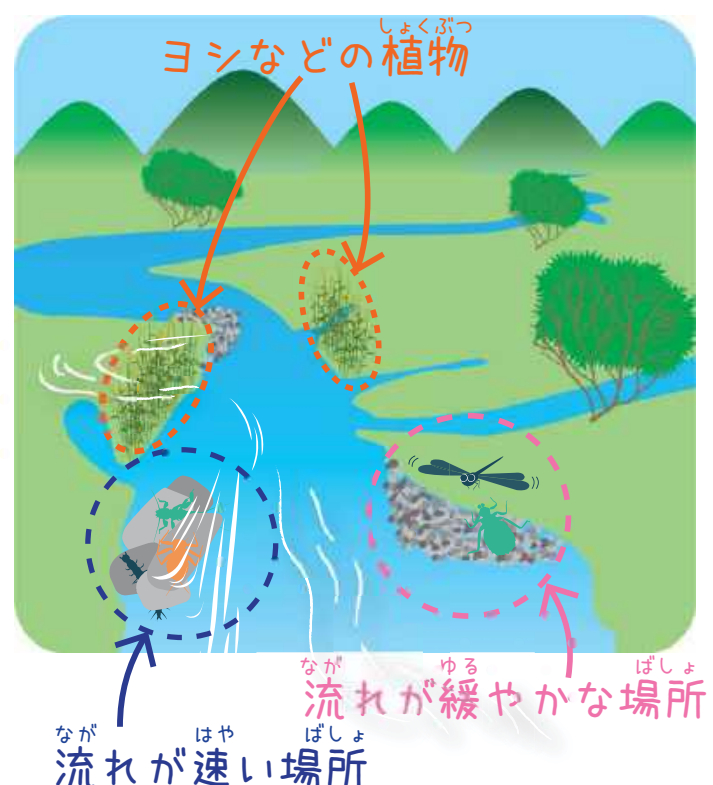
日本産水生昆虫第二版(川合 禎次、谷田 一三,2018)、長野県版レッドデータブック—長野県の絶滅の恐れがある野生生物—動物編(長野県,2004)

## 環境の違いによりすんでいる水生生物が異なる!

川の中には、流れが速く川底が石の場所や、流れが緩やかで川底が砂の場所、水深の浅い場所、深い場所、水際にヨシなどの植物が生えている場所など色々な環境があります。

水生生物調査の結果、たとえば流れが速い場所では、石の表面にヒラタカゲロウ類、石と石の間にはヘビトンボやカワゲラ類などがみられました。一方で、流れが緩やかな場所では、エビの仲間やコオイムシ、砂底にはコオニヤンマやハグロトンボなどがみられました。

このように川の中では、環境の違いによりすんでいる生物が異なります。多くの種類の水生生物が生きていくためには、様々な環境が川の中にあることが大切です。





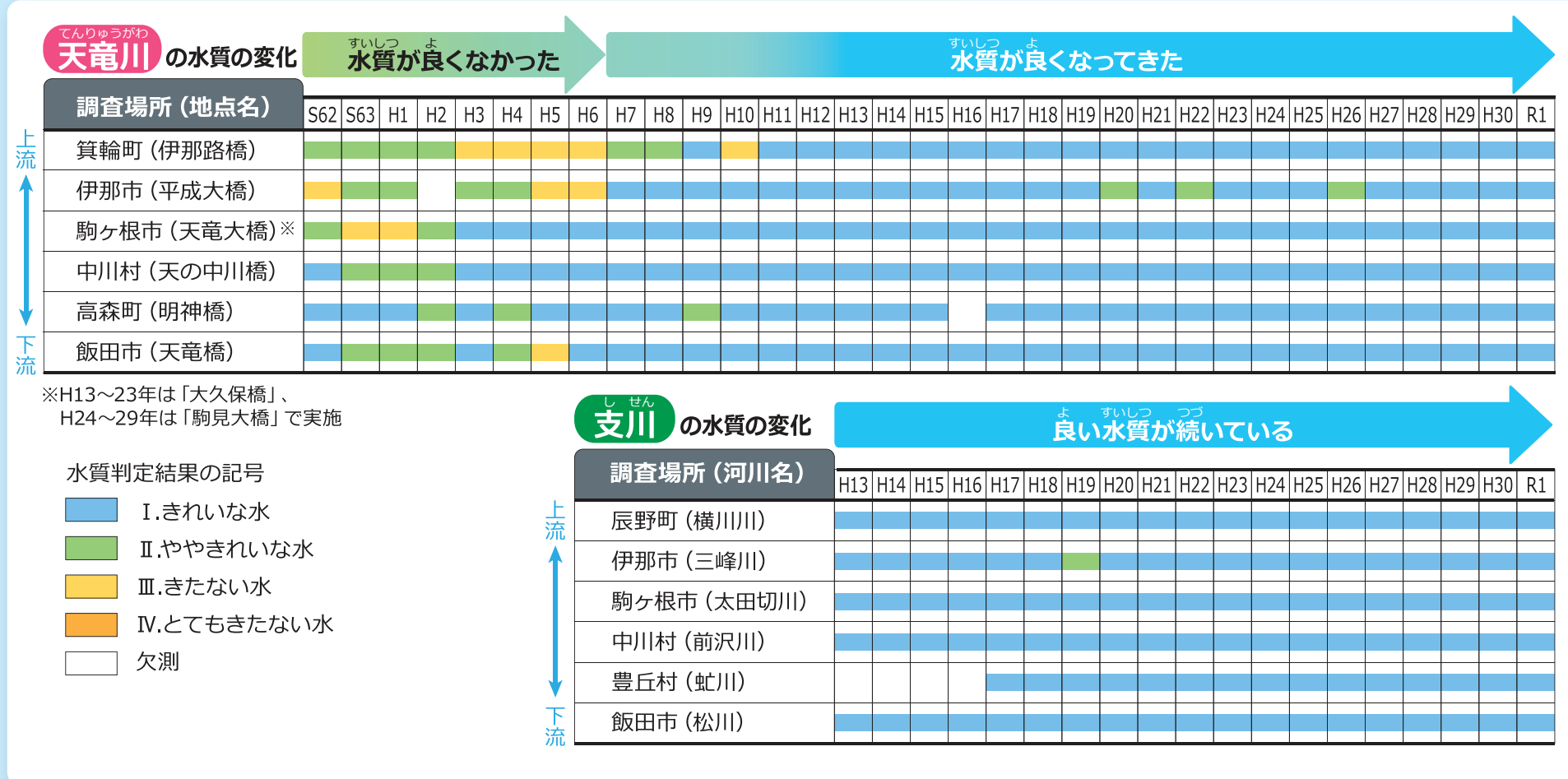
# 天竜川の水質(水のきれいさ)について

## 天竜川の水は、昔と比べてきれいになった！

平成6年ごろまでは、とくに上流側の地点で水質が良くないことを示す緑色(ややきれいな水)や黄色(きたない水)が目立ちます。

しかし、平成7年ごろから青色(きれいな水)がつつくようになったことから、水質が良くなっていることがわかります。

また、天竜川の支川では、調査が始まった平成13年からほとんど青色(きれいな水)が続いています。



## 最も多い指標生物は？

### 天竜川では、ヒラタカゲロウ類が最も多い！

天竜川では、多くの地点でヒラタカゲロウ類が多い傾向がみられました。タモ網ではつかまえにくい生きものなので、起こした石をよく観察した結果だといえます。

ヒラタカゲロウ類は石の表面をすべるように動き、うすく付いている藻類を剥ぎ取って食べます。そのため、石の表面が藻類やシマトビケラ類の巣網などに覆われてしまうと移動することができなくなり、数が少なくなります。

7月の雨による出水で、いつもは川底の石の表面に多くみられる藻類やシマトビケラ類の巣網が少なくなると、ヒラタカゲロウ類がすみやすい状況だったのかも！？

#### ヒラタカゲロウ類



きれいな石の表面にはりつくヒラタカゲロウ類

# 来年も水生生物調査を実施します。ぜひ、ご参加ください！

天竜川上流河川事務所では、水生生物調査を毎年実施しています。

参加者の方からは「楽しかった」「勉強になった」「また参加したい!」との声をたくさんいただいているとともに、リピーターの方も参加されています。

調査に参加すると、川を見るだけでは気づけなかった新たな発見や経験ができるかもしれません。水生生物調査を通して、身近な川のことをより深く知ってみませんか？来年も多くの方のご参加をお待ちしています！

なお、調査の方法、生きものを見分けるための資料などをまとめたパンフレット「天竜川の水をしらべてみよう」を天竜川上流河川事務所のホームページで公開しています。ぜひそちらもご覧ください。

天竜川上流河川事務所ホームページ：キッズコーナー  
水生生物調査に関するページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/work/kids.html>



## 川で遊ぶときは、十分注意しよう！

川は、いろいろな生きものをみつけられるほか、釣りをしたり、泳いだり、多くの方が楽しく利用しています。しかし、場所によっては、深いところや流れの速いところなど、危険なところもたくさんあります。

川で遊ぶときには、右に書いてある4つのことに注意して、安全に楽しみましょう！

### 川遊びのやくそく



笑顔、きらきら、天竜川。

天竜川上流河川事務所

国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10  
TEL.0265-81-6415(調査課) FAX.0265-81-6420(調査課)  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/>